社会福祉法人　春風会　令和 2 年 10 月 25 日

はるかぜ　第 81 号

やまゆり荘

〒377-0433　群馬県吾妻郡中之条町折田2515　TEL. 0279－75－6517

毎年恒例のやまゆり荘の一大イベントも例外なく、コロナウィルスの影響を受けてしまいました。感染対策を行いながら、安心して行うには、どのように準備をすればいいのか？とギリギリまで悩み考えましたが、今年は内容と規模を縮小し、「暑気払い（食事会）」としてご利用者の皆さんに楽しんで頂こうと決めさせていただきました。

楽しい行事には楽しい雰囲気が必要と、簾を購入。そこにおかめとひょっとこ、かき氷、祭り提灯、うちわに紙風船。夏らしい花を少々散らせて、フォトスポットを作り、祭はっぴを着たご利用者の首周りにはハイビスカスのレイ。そして手にはセンスを持って頂き、女性にはお化粧やマニキュアを施し、「はい！撮るよ！笑って～！」と職員が賑やかし写真を撮りました。

16 時開始予定でしたが、焼肉用の炭に着火したところ予定時刻より大分前に炭火ができ上り、春和会の皆様のご協力もあり、15 時過ぎには暑気払いが始まりました。天候も丁度良くブルーシートの下にテーブルを並べて、外に出て食事を楽しむことができました。

いつもと違う納涼祭となりましたが、こんな形の方法もあるのだと感じました。でもやはり、ご家族も一緒に楽しむことができるお祭りのあり方を検討していく必要があることも感じました。今回、暑気払いにご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。「with コロナ」という時代、来年度は皆さんと一緒に賑やかな納涼祭が開催できますように。

特養　生活相談員　加部　愛

７月 22 日にめぐみグループホールにて、夏祭りを開催しました。今年は、たこ焼きを焼いたり、かき氷をしたり、スイカ割をみんなで行いました。スイカ割では、日ごろのストレスを発散するかのように、みんな本気で棒を振りかざしていました。楽しんでいただけたようです。たこ焼きもうまく焼けたようで、皆さん美味しそうに食べていました。

今年は、新型コロナの影響で日本中のお祭りが中止になってしまったので、グループでお祭りが出来て、私もお祭り気分を味わえました。来年も夏祭りを開催できたらいいなと思いました。

めぐみグループ　介護係　飯野　春奈

今年度は昨年よりも体が一回り大きく成長した子ども達が思い切り楽しめるように大きなプールを購入させていただきました。プールの中ではワニに変身して泳いだり、バタ足をしたり、たくさん動けるプールでの水遊びに大喜びの子ども達でした。

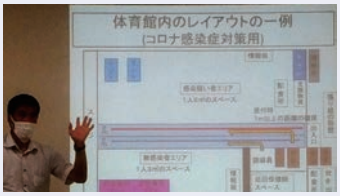
「今日も大きいプールに入る？」と楽しみにしながら登園してくれました。水が苦手なお友達も、魚すくいや水鉄砲で遊びながら少しずつ水に慣れるように配慮し、一緒に水遊びを楽しみました。

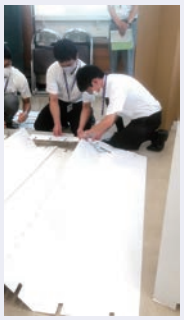
新しいお友達も増え、笑顔いっぱいの楽しい夏を過ごすことができ、良い思い出となりました。

はるかぜ保育所　剱持有紀子

吾妻保健福祉事務所災害訓練

９月８日に吾妻保健福祉事務所で行われました、「避難所における新型コロナ対策等研修会」に参加させていただきました。研修では、「避難所における感染症対策」や「コロナ禍における避難所運営のあり方」といった講義と、避難所間仕切り用段ボール「ＫＡＭＩＫＡＢＥ」（かみかべ）の組み立て見学などが行われました。





「避難所における感染症対策」では、発災前から各種通知やマニュアルの確認と周知、避難所等のレイアウトの決定などが必要とのお話がありました。

「コロナ禍における避難所運営のあり方」では、講師の経験から得た知識や避難所運営の三原則（迅速性・公平性・透明性）、受け入れ時の心得などを教えていただきました。

避難所間仕切り用段ボール「ＫＡＭＩＫＡＢＥ」は、群馬県の建設業協会が開発したものですが、単純な感染症対策だけでなく、精神面にも配慮した物でした。これらの間仕切りは、設置に時間がかかるものの、強く、広さが変えられることなどから、家族ごとのプライベートスペースを確保できるのではないかと感じました。

世の中では「想定外」や「何百年に一度」といわれるような気象現象などが頻発しています。何かが起こってから動くのではなく、平時に行えることを行い、「備えること」が大切だと感じます。今後も様々に学びを深め、「備えて」いきたいと思います。

地域公益活動推進室　室長　下前　剛次

なごみグループ 敬老会

なごみグループでは、9月19日に敬老会を行いました。
昼食にお寿司、おやつにはケーキを提供し、皆様おいしそうに召し上がっている姿がとても印象的でした。また、慶祝者には慶祝状をお渡しし、利用者様・職員一同でお祝いをさせていただきました。
普段と違った雰囲気に皆様の喜ばれている表情を見ることができ、職員一同嬉しく思います。
今後も季節を感じていただけるような行事を開催できるよう、計画していきたいと思います。

なごみグループ　介護係　黒﨑　有紗

お月見団子作り

１０月１日、十五夜の日に月見団子作りを行いました。
団子の粉を練り、適当な大きさにちぎり、利用者の皆様でコロコロ形を真ん丸に整えて貰いました。
手慣れている方は２ついっぺんに上手に丸めてゆき、慣れない方も「あっ！そろばん玉型になっちゃった！」と笑いながら型をまたコロコロと整え直し、あっと言う間に100個近くのお団子を楽しく作りあげました。
お団子を茹で、艶出しする時も皆様一切妥協せず、ツヤツヤのお団子になるまで根気よく扇いで下さいました。
皆様の頑張りで、真ん丸でツヤツヤな立派なお月見団子が出来ました。
一晩、お月様へお供えをし、次の日みたらし団子にして、お茶会で美味しく頂きました。
十三夜もお団子作りをする予定なので、また張り切って作って頂きたいです。

ケアハウス　介護係　蟻川小百合

マスのから揚げ

10月8日にマスのから揚げを実施しました。今年もサンマが不漁で高値だったため、初のマスです。本来は炭火でマス焼きの予定でしたが、当日はあいにくの天気で急遽、「焼き」→「揚げ」に変更となりました。嬬恋村の鱒谷養魚場様より140匹のマスを仕入れました。とっても状態のいいマスでした。
利用者様の中には数日前から楽しみにされている方もいらっしゃいました。出来立てのマスを召し上がり「おいしい」「塩加減もちょうどいいね！」と皆様喜ばれていました。皆さん、あっという間に全部召し上がっていました。

今年は、コロナ禍でお出かけなど出来なかったですが、これからも利用者の皆様が笑顔になれるような行事を行っていきたいと思います。

のぞみグループ　介護係　田村美奈子

秋の食事メニュー

やまゆり荘では実りの秋という事で旬の野菜や山菜・魚など多く取り入れ、ご用意しました。

ご利用者様から「部屋に持って帰り、仏様にお供えしたいくらい良かった」との感想をいただきました。

今後も利用者様が美味しかったと喜んで頂ける献立を取り入れていきたいと思います。

▶21日　敬老の日には　栗赤飯・秋刀魚のみぞれ煮・さつま芋のレモン煮・巨峰

▶22日　秋分の日には　鮭としめじの炊き込みご飯・なめこの味噌汁・南瓜コロッケ・梨

食事係　水出　弘美

お誕生日会

デイサービスでは、ご利用者様の記念すべき誕生日には「リクエストおやつ」というのがあります。こちらで頂くおやつとは別に、ご自分の好きな「おやつ」を聞いておやつの時に召し上がって頂いています。ご本人だけではなく、その日のご利用者様も一緒です。箱ちゃん饅頭、温泉饅頭、焼きまんじゅう、ペコちゃんのほっぺ、中には大根漬けなどもありました。小物のプレゼントの他に、写真や職員手作りのお誕生日カード、歌など「お誕生日会」をして皆でお祝いをします。

自分の好きな食べ物、食べたいものと言われても、直ぐに思いつかないので何日か、考えて頂きます。決まった時の嬉しそうな顔と、「美味しいですよ。」と言われる、嬉しそうな顔を見るのが私たちの楽しみです。これからも、もっと笑顔を増やせる様に工夫していきたいです。

デイサービス　介護係　石坂千恵子

医務室より

新型コロナウイルスが流行して半年以上過ぎましたが一向に減少の兆しが見えていない状態です。幸いにも施設内での感染した利用者様・職員は無くほっとしています。

利用者様には体温測定を毎日お願いし、職員も毎日の体温測定、マスクの着用、手洗い、咳嗽を励行しています。しかし新型コロナウイルスが無くなったわけではありません。もし感染した場合はどうなるでしょう。コロナウイルス陽性と診断されたら感染予防のため病院（吾妻郡は原町赤十字病院）へ入院隔離し治療になります。高齢者や基礎疾患がある方など免疫力が下がっていると重症化してしまいます。くれぐれも感染防止に努めなければいけません。9/24 の新聞記事に新型インフルエンザ治療薬「アビガン」が新型コロナウイルスに一定の有効性が示されたと報道があり 10 月にも新型コロナの治療薬として承認申請すると朗報がありました。現在、抗ウイルス薬「レムデシベル」、抗炎症薬「デキサメタゾン」２種類の新型コロナ治療薬があり、「アビガン」が国内３番目の新型コロナ治療薬となる。安全性が問われますが治療に有効なら早く使用して頂きたいです。これから、インフルエンザの発生も予想されます。今年は早期に利用者様・職員にインフルエンザ予防接種が実施出来る予定です。これからも予防に努め感染予防を継続していきましょう。

看護チーム　橋詰　正雄

編集後記

朝晩と随分と肌寒くなり、日が短くなって来ました。秋の夜長をいかがお過ごしでしょうか？

コロナ禍でも、色々な催しが開催出来たことを喜ばしく思っております。世の中ではまだまだ、三密を避けるなど制限があり終息も見えていません。しかし、創意工夫をして、これからもご利用者様に喜んで頂ける催しを開いていけるようにしたいと思える季節でした。

総務係　黒岩　香織